



山梨県固有のデザインソースの集積と「山梨らしさ」を付加価値とした製品等の開発に関する研究

串田賢一・秋本梨恵・佐藤博紀・中村卓・保坂響（産業技術センター）・郷健太郎・木下雄一郎（山梨大学）・近藤暁子・小畑茂雄・丸尾依子・海老沼真治・中野賢治・松田美沙子・茶園紘己（県立博物館）・齊藤初美（県立文学館）

1 背景・目的

◆「地域らしさ」の重要性

地域・地場製品のブランディングを進めるうえでは、単に情報発信を行うのではなく、自然や歴史、風土、文化、伝統などに根ざした「地域らしさ」を活かし、人々に共感される背景や物語を作り込むことが不可欠。

◆「地域らしさ」を可視化する

人々の意識や、一部の人には知られていない知見を、「形あるモノ」「言葉」などに可視化し、使うことのできる「仕組み」や「カタチ」にすることが重要。

◆山梨の現状

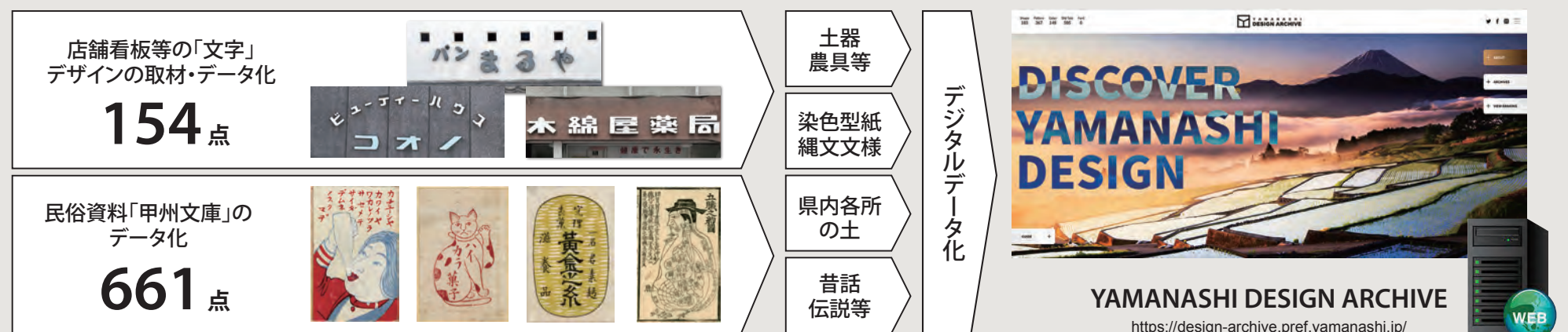
これまで山梨県では、デザインの視点からの総合的な調査・研究の蓄積が十分でなかった。

◆本研究の目的

地域に眠っている様々な資源をデザインの観点から捉え直し、データ化や言語化を行うことで、新しいブランディングの一助となるよう研究を行う。

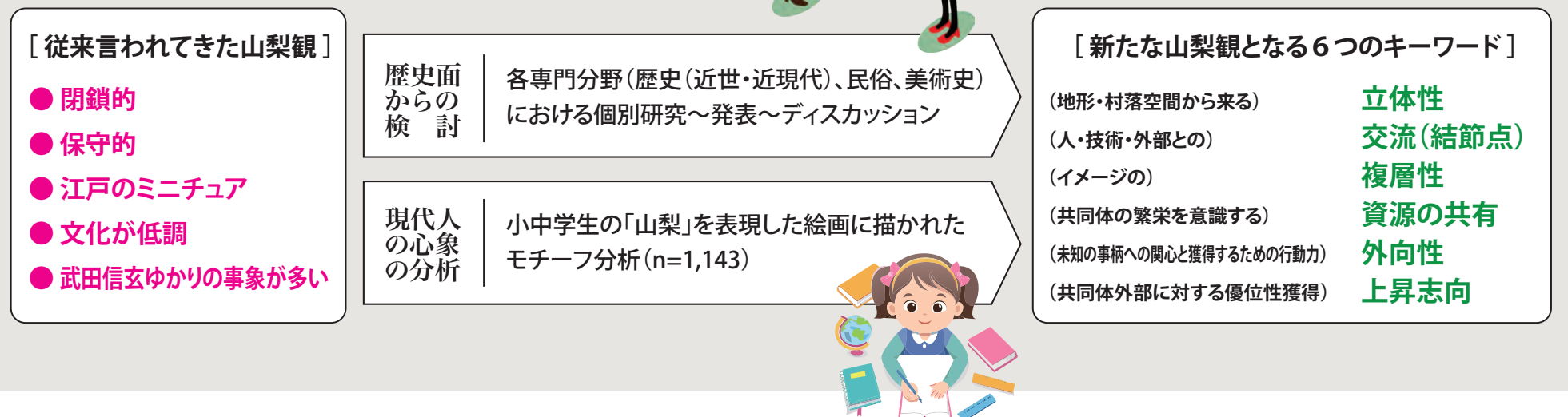
3 デザイン資源の蓄積とデジタルアーカイブ構築

地域のデザイン資源の蓄積・流通を担うデータベースの構築



4 人文科学面から見た「山梨らしさ」

新たな「山梨観」を表す6つのキーワードを導出



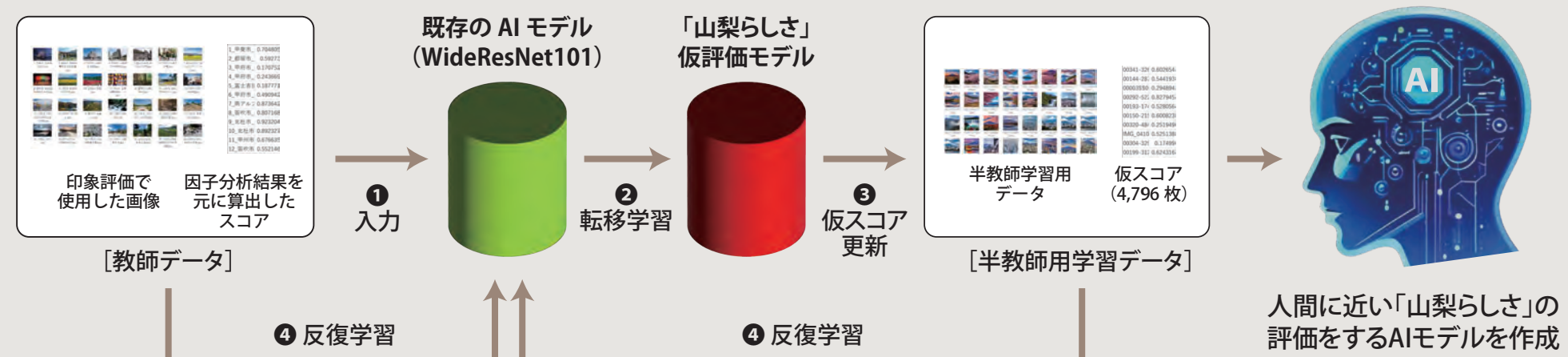
5 感性工学面から見た「山梨らしさ」

山梨を好意的に捉える4つのイメージワードを特定



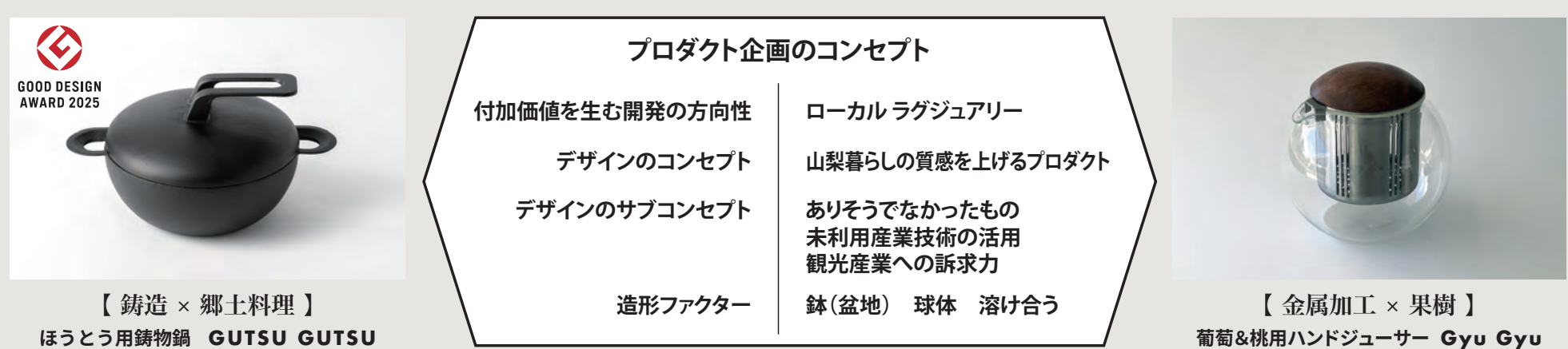
6 深層学習面から見た「山梨らしさ」

人が評価する「山梨らしさ」に近い評価をシミュレートするAIの作成



7 「山梨らしい」プロダクトの試作開発

地元の製造技術を生かした新規プロダクト（2点）の試作開発



●問い合わせ先

山梨県産業技術センター デザイン技術部
主任研究員 串田賢一
Tel: 055-243-6111
e-mail: kushida-wkp@pref.yamanashi.lg.jp